

3

太郎くんは、世界情勢のニュースを見て、人類が仲良く暮らせる時代になるためには、どうすればよいのか考えていたところ、司馬遼太郎りょうたろうさんが書いた『二十一世紀に生きる君たちへ』という本があることを知り、さっそく読んでみました。

次の文章は、司馬遼太郎著『二十一世紀に生きる君たちへ』（世界文化社）の一部です。これを読んで、問1～問6に答えなさい。

司馬遼太郎著「二十一世紀に生きる君たちへ」世界文化社

10頁7行目から24頁6行目の文章による。

(一部省略あり)

問1 太郎くんは、作者が「自然と人間」についてどのように考えているかを、次のようにまとめてみました。(1)～(4)に、もっとも適切な語句を本文中から抜き出し、答えなさい。

<「自然と人間」についての太郎くんのまとめ>

作者は、人間は、自然によって生かされてきたと述べています。

(1) (15字)
しかし、近代や現代に入って、

| | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

 という

(2) (16字)
考えが台頭^{たいとう}し、二十世紀は、

| | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

 であると

とらえています。

(3) (9字)
そして、二十一世紀を生きるぼくたちに

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|

 であることを再確認

(4) (7字)
し、

| | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|

 ことを期待しています。

問2 下線部①「自己」を、作者は具体的にどういう自己と言っていますか。本文中の言葉を用いて、30字以内で「———自己」のように答えなさい。

問3 作者は、人という文字をどのような意味合いがあるにとらえていますか。40字以内で答えなさい。

問4 太郎くんは、作者が「僕たちに求めていること」はどんなことだろうかと考え、それを次のような表にまとめてみました。

<「僕たちに求めていること」についての太郎くんのまとめ>

①自己の確立

②自分に厳しく、相手にはやさしく

③いたわり

⇒

は「本能ではない」だから

の中に入る語句を、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア やさしさ
- イ たのもしさ
- ウ たくましさ
- エ 道徳

の中に入る文を、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 私たちは助け合いながら学ばねばならない。
- イ 私たちはつねに晴れあがった空のようであらなければならない。
- ウ 私たちは大地を踏みしめつつ歩かねばならない。
- エ 私たちは訓練をしてそれを身につけねばならない。

問5 下線部③「たかだか」と同じ意味で使っている文を、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 旗をたかだかと^あ揚げる。
- イ サイレンがたかだかと鳴る。
- ウ たかだか100円の出費。
- エ たかだかと読み上げる。

問6 本文の内容にあてはまらないことを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 人間は、一人で存在することは不可能である。人間は、常に人間の中であって、人間たりうるものである。
- イ 人間は再び、大きな存在に生かされているという考えを取り戻しつつある。
- ウ 助け合うという気持ちや行動のもとのもとは、私たち^{みな}皆が本来持っているものである。
- エ 二十一世紀を支える君たちが、他者をいたわる気持ちが持てれば、人類が仲よしで暮らせる時代になるにちがいない。

太郎くんは新聞を読み、世界の人口問題についてまとめてみました。

次の「太郎くんが世界の人口問題についてまとめたこと」をもとにして、問1に答えなさい。

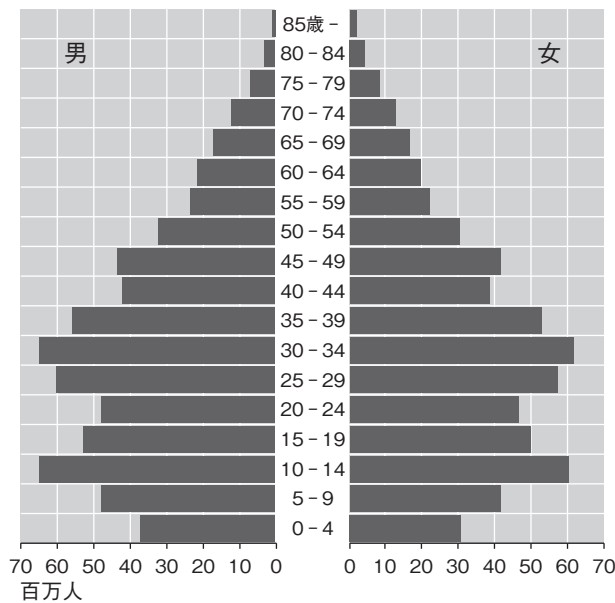
太郎くんが世界の人口問題についてまとめたこと

下のグラフは、年齢別の人口構成を表しています。底辺を0歳にして、左右には男・女別に5歳きざみで年齢別の人口を棒グラフで表しています。通常は、だんだん年齢を重ねていくうちに死亡等により人口が少なくなります。このため、ピラミッド状の形になることから、「人口ピラミッド」と呼ばれます。

中国の「人口ピラミッド」(2000年)の形は、2020年頃には、2000年の日本の「人口ピラミッド」とよく似た形になる見込みです。

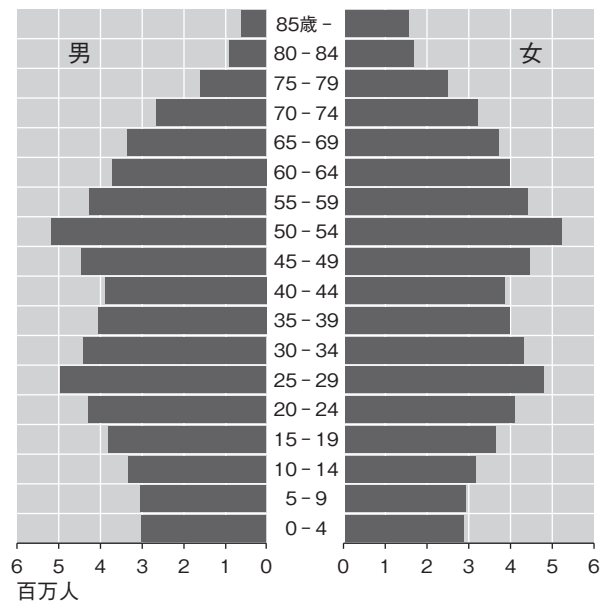
中国の人口ピラミッド(2000年)

総人口：124,261万人



日本の人口ピラミッド(2000年)

総人口：12,693万人



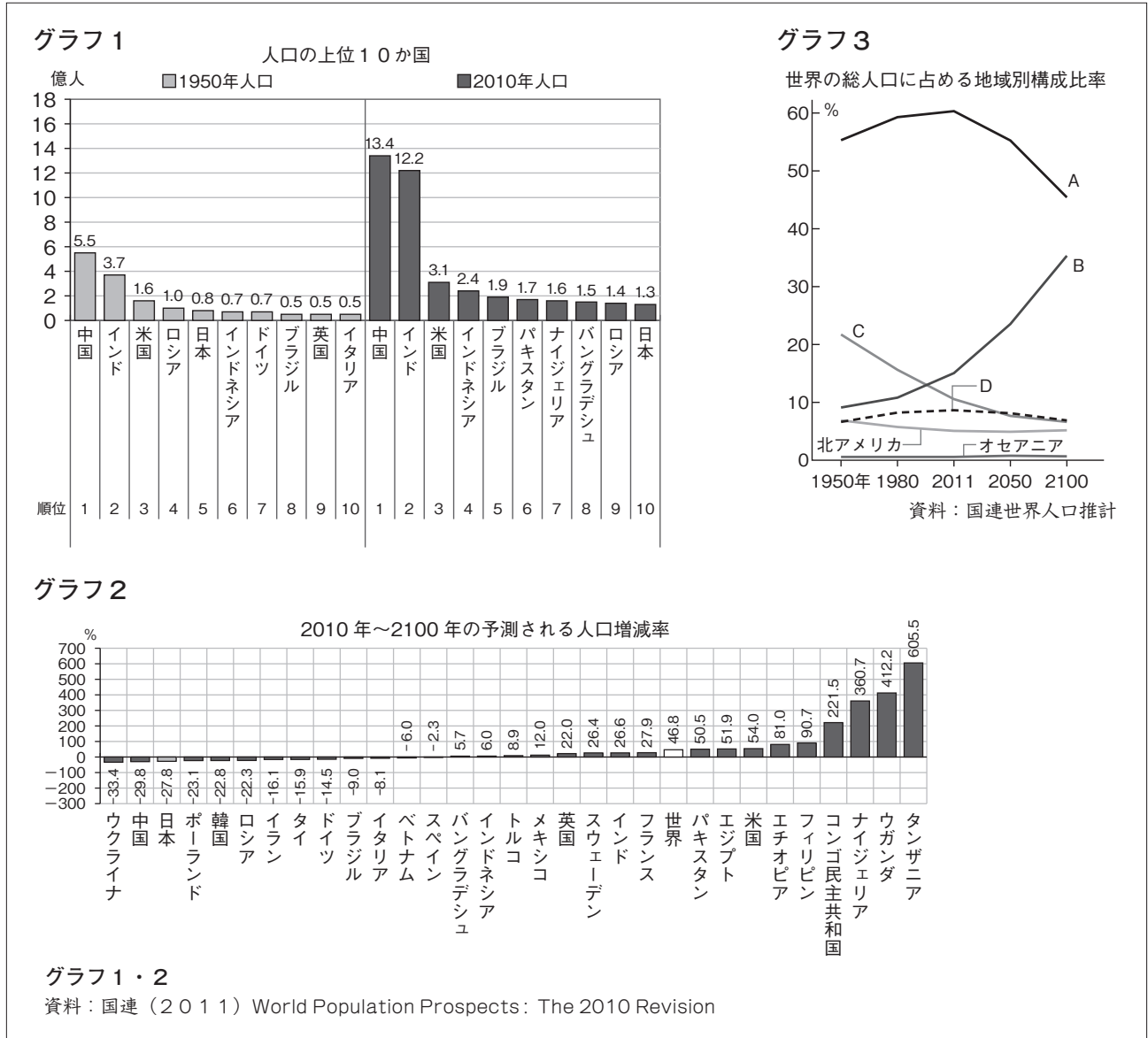
資料：総務省統計局「世界の統計2005」

問1 中国の人口ピラミッド(2000年)をみていた太郎くんは、今後の人口の動きから考えると、2020年頃には、中国社会に大きな影響を与えていると推測される問題に気づきました。太郎くんが気づいた問題にもっともふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 人口が急激に減少すること
- イ 貧富の差が一層拡大すること
- ウ 出生数が2倍に増加すること
- エ 急速に高齢化が進行すること

太郎くんは、国と地域の今後の人口の推測と世界の総人口に占める地域別の比率について調べてみました。

次の「グラフ1～3」をもとにして、問2と問3に答えなさい。



問2 2100年に、人口が世界1位になっていると推測できる国はどこですか。次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 中国
- イ インド
- ウ ブラジル
- エ パキスタン

問3 世界の総人口に占める地域別の比率をあらわしたグラフ3で、アジアを示すグラフはどれですか。A～Dの中から1つ選び、記号で答えなさい。また、そう考えた理由を簡単に説明しなさい。

5

花子さんのクラスでは、奈良県にある東大寺の大仏について、班ごとに調べて発表会を行います。

先生は、これから行う「調べ学習」の計画を、花子さんたちに次のように説明しました。



東大寺の大仏

第1時間目…「東大寺の大仏」の写真を見て、気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、調べるテーマを決めましょう。

第2時間目…第1時間目に決めたテーマについて、図書館やインターネットを利用して調べてみましょう。

第3時間目…調べたことや自分たちで考えたことをまとめて、発表の資料と原稿をつくりましょう。

第4時間目…班ごとに発表します。他の班からの質問に答えましょう。

次の問1～問5に答えなさい。

問1 花子さんは、東大寺の大仏がつくられた理由を、当時の政治の動きや社会のようすから考えてみました。空欄Aにはア～ウの中から、空欄Bには①～③の中からそれぞれ適するものを選び、花子さんが考えた大仏がつくられた理由を完成させなさい。

ので、 ため。

- ア 政権争いや災害、病気が何度も発生した
- イ 中国との外交がうまくいっていなかった
- ウ キリスト教の信者が急速に増加してきた

- ① 一向宗などの仏教を取り入れようとした
- ② 仏教の力で社会の不安をしずめ、国を治めようとした
- ③ 中国との関係の強さを示そうとした

問2 第2時間目で、テーマについてインターネットを使って調べるとき、注意しなければいけないことは何ですか。次のア～エの中から、注意することとして適切なものをすべて答えなさい。

- ア 名前や住所、生年月日などの個人情報を、気がるに書きこんだりしない。
- イ 情報を発信するときは、他の人に迷惑をかけないように気をつける。
- ウ 調べた情報は何でもまずダウンロードし、すべて印刷してから利用する。
- エ コンピュータの利用にあたっては、必ずパスワードを設定して利用する。

問3 次の文は、花子さんの班が準備した発表の「原稿の一部」です。花子さんの班はどのようなテーマで、調べ学習を行ったのでしょうか。20字以内で調べたテーマを書きなさい。

原稿の一部

大仏の体は、鉄ではなくおもに銅でできていました。体は、大きな銅の板をつないで仕上げたのではなく、とけた銅を少しずつ型に流し込んで、仕上げたようです。

(以下、省略)

問4 発表の時間に、問3の「原稿の一部」をもとに発表したら、次の質問がありました。この質問に対する答えとしてふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。ア～エの中には、答えの内容がふさわしくないものと別の質問に答えているものがあります。

質問：大仏に使われたたくさんの銅は、どこから集めたのですか。

- ア 銅を溶かすなど、働いたのべ人数は、260万人以上と推測されています。
- イ 日本でも銅はとれますが、足りなくなってアメリカ大陸から輸入しています。
- ウ 大仏に銅を使う技術は、朝鮮半島からの渡来人の子孫が伝えたものとわかりました。
- エ 詔には、国じゅうの銅を用いるとありますから、全国から集めたと考えられます。

問5 花子さんは、人物とその時代を代表する建築物や仏像をおすびつけたカードをつくりました。最初に「聖武天皇と大仏」のカードをつくりました。「花子さんがつくったカード」をもとにして、「作業」1と2を行い、2の結果を記号で答えなさい。

花子さんがつくったカード

聖武天皇と大仏

ア 足利義満と金閣

イ 徳川家光と日光東照宮

ウ 藤原頼通と平等院

エ 聖徳太子と法隆寺

作業

- 1 ア～エのカードから、「聖武天皇と大仏」より時代の古いカードを、1枚取り除いてください。
- 2 残った3枚のカードを、年代の古い順に左から並べかえてください。

太郎さんと花子さんは、さまざまな地域について調べました。

次の「図1と図2」をもとにして、問1に答えなさい。

図1 昭和35年(1960年)の市街地の広がり

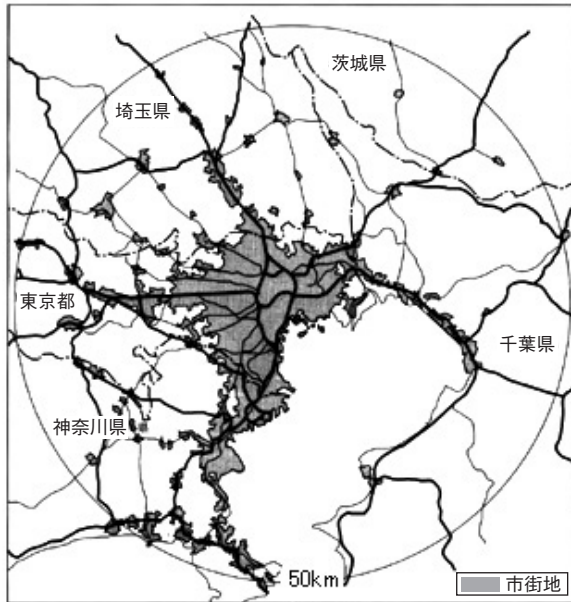
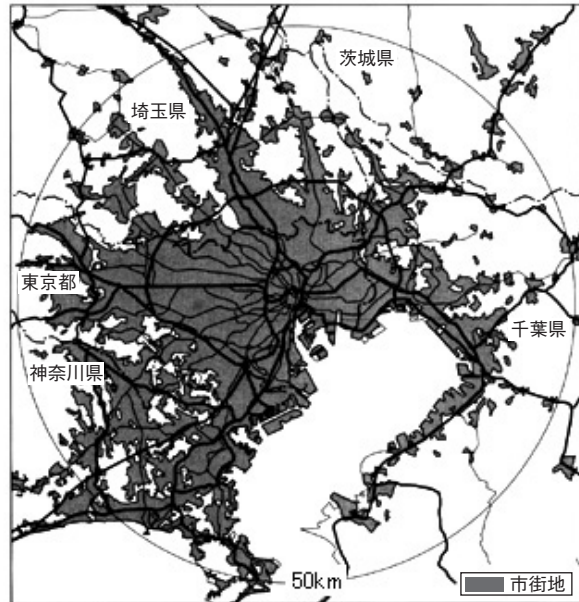


図2 平成7年(1995年)の市街地の広がり



資料：平成10年(1998年)首都圏整備に関する年次報告

問1 図1と図2を比較してみると、都心から50km圏内にある市街地の拡大には、一定の規則性があることがわかります。一定の規則性についてまとめた、次の文の()に適する語句を入れなさい。

図1と図2の都心から50km圏内にある市街地は、()の発達とともに、それに沿って拡大してきました。

江戸時代には、主な街道が整備されました。さいたま市でも中山道の宿場として浦和宿、大宮宿があることを知った太郎くんは、江戸時代の主な街道が、現在の日本のどこを走っているのか知りたくなり、都府県で区切られている白地図に記入してみました。

次の「図3」をもとにして、問2と問3に答えなさい。

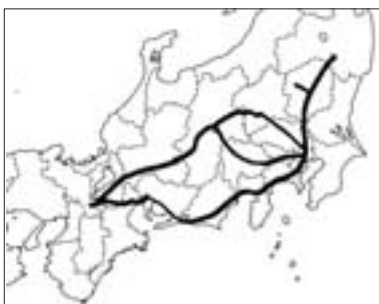


図3

問2 東京を起点とした場合、埼玉県を北西方向に通っている中山道が、山梨県を走っている甲州街道と合流する所の都府県名を答えなさい。

問3 記入された街道のうち、いちばん南を走っている街道の名所風景を、「東海道五十三次」に描いた浮世絵師はだれですか、人物を答えなさい。